

地元スーパー 男鹿東とコラボ 中学生考案の弁当人気



男鹿市船越のスーパーセンターアマノ男鹿店は、地元男鹿東中学校2年生が考案したレシピを基にしたオリジナル弁当の販売を始めた。旬の食材を使った「秋サケの塩麹焼と手羽甘弁当」(698円)を、今月26日まで販売する。

コラボ弁当は健康的で豊かな食生活を目指すアマノと同校の食育連携の一環で、前年に続いての企画。生徒が考案したレシピを集め、アマノが試作を重ねて販売に至った。9～11月の各月にそれぞれ一度ずつ、一定期間異なる弁当(計3種類)を販売する計画だ。10月のオリジナル弁当は季節に合ったメニューをできるだけ採用することとし、メインの秋サケや、イカと里芋の煮物が季節感を演出。手羽元の甘辛照り焼きは食べやすいようにやわらかく仕上げた。カボチャサラダ、切り干し大根も並び、コメは県産あきたこまちを使った。



17日は同校2年生の職業体験に合わせ、店内で先行販売を行った。生徒は「おいしいコラボ弁当いかがでしょうか」などと来店者に呼びかけた。メニューの内容などを尋ねられると丁寧に解説。用意した約20食は30分ほどで完売した。

加藤ほのかさんは「魚と肉があって、満足感とヘルシーさを味わうことができる仕上がり。多くの人に食べてほしい。こんなに早く売り切れるとは予想していなかった」と笑顔を見せていた。

9月はサンマ、マイタケご飯、ハンバーグの弁当が販売された。11月は17～23日の販売を予定している。(阿部拓郎) (令和7年10月21日(月)秋田魁新聞より一部抜粋)